

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型放課後等デイサービス グッジョブカレッジ谷山校		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 68	(回答者数)	40
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		2025年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを理解し、子どもと保護者のニーズに合わせた支援計画の作成を行うことが出来ている。	・定期的な面談の際に、ご家族のニーズをお聞きして、学校や他事業所との連携も行っている。	・担当者会やモニタリングの充実
2	日頃から子どもの状況を伝えあい、共通理解が出来ている。	・事業所で送迎がなく、ご家族とお会いする機会が少ないため、文字に残る形の連絡で、コミュニケーションを多くとっている。保護者からも時間を気にせず連絡を入れていただける。	・スタッフ間ミーティングのさらなる充実 ・関係機関との連携強化
3	事業所のプログラムが固定化されないよう工夫している。	・毎月のカリキュラムを1か月以上前から作成している。スタッフ全員で、各専門分野の視点や、日ごらの活動を通じた生徒の様子などから案をあげ、組み込んでいる。	・現行の継続

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	・不登校生徒など、環境や人の変化に敏感な児童生徒が多く、企画が難しい。	・実施場所や人数の調整を行って企画
2	保護者同士の交流や、きょうだい同士の交流の機会が少ない。	・生徒の活動発表の場はあるが、保護者同士の交流とまではいっていない。	・保護者会の企画、実施
3	非常時の訓練実施の周知率が低い。	・企画・実施はしているが、児童・生徒の参加率は低い。	・興味・関心を持てるような内容で企画

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	グッジョブカレッジ谷山校
------	--------------

公表日 2025年 2月 26日

利用児童
数 68

回収数 40

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	2	0	1	落ちついた環境で過ごせている	今後も児童・生徒ご本人と、ご家族の皆様安心して通所していただけるよう、努力を継続いたします
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	34	1	0	5		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていますか。	30	2	0	4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	38	0	0	2		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の高い支援が提供されていると思いますか。	37	1	0	2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と一致していると思いますか。	38	0	0	2		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に把握されていると思いますか。	39	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに基づいた支援が行われていると思いますか。	36	2	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	3	0	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	0	0	3		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動していると思いますか。	14	5	6	15		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担金等が明示されていると思いますか。	39	0	0	1		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明が丁寧に行われていると思いますか。	38	2	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)が提供されていると思いますか。	29	3	0	8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況を確認していると思いますか。	37	3	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていると思いますか。	28	8	1	3	面談の回数を増やしてほしい	時期や内容を検討し、ご家族の交流や情報共有の機会を増やしていきます

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	2	0	1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同	15	8	4	13		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備さ	34	3	0	3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされ	37	2	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、	37	1	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	38	0	0	2		
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯	24	2	0	14	感染対策マニュアルなどの対応がわかりません 案内をみてみたいです
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他	21	2	0	17		
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知さ	27	2	0	11		
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな	25	1	0	14	その場面がない為わかりません	発生した際には、迅速に真摯に対応いたします
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	2	1	1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	5	2	1	土曜日にプログラミングだけでなく、いろいろなカリキュラムをしてほしい	実施できるよう検討いたします
	29	事業所の支援に満足していますか。	38	1	0	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 グッジョブカレッジ谷山校

公表日 2025年 2月 26日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		<input type="radio"/>		エレベーター未設置の為。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		生徒の様子や状況等を職員間で情報共有を し必要だと思われるスキルを支援するための カリキュラムを設定している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			

適切な支援の提供

16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			活動を通して、生徒のペースで自己決定や自己選択を促せるような支援を行っている。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			

関係機関や保護者との連携

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○		会の情報を収集し、参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		必要に応じて各連絡手段を通じて、保護者と密に連携をとっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		課外活動など、保護者への協力・理解を促せるよう事前に案内書類などを配布している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○		実施予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニユ	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			